おわりに

平成２３年４月に設置した当所職員をメンバーするプロジェクトチームは、開業まであと３年に迫った北陸新幹線の開業に関する諸課題について、情報を収集・整理することを目的として１年間にわたって活動してきました。

この間、金沢以西の大阪までの延伸について、東海道新幹線の代替補完機能を確保する観点から、関西地域でも関心が高まってきています。その中にあって、遅れていた金沢から敦賀までの着工が間もなく認可されるとの期待も膨らんでいます。

また、敦賀～大阪間がフル規格で整備されるまでの暫定措置として、線路幅の異なる新幹線と在来線を直通運転できるフリーゲージトレインの導入案も浮上するなど、北陸新幹線の大阪までの全線開業に対する期待が日に日に大きくなっています。

富山から東京まで約 2 時間で結ばれることで新しい富山へ生まれ変わることへの期待を胸に、私たち一人ひとりが担う役割を自覚し、連携して取り組んでいくことが求められます。

富山市は、路面電車や LRT をはじめとする充実した鉄軌道網を強みとして観光客やビジネス客を取り込み、おいしい食べ物や豊かな自然環境でお客様をもてなし、さらにはリピーターとなって再び富山を訪れてもらえるよう、富山県民・市民をあげてその準備をはじめなければなりません。

当所は、本報告書で整理された諸課題等について、県、市をはじめ関係機関と連携をとりつつ活動して参りたいと思います。

今後とも、当所の事業活動にご支援賜りますようよろしくお願い申しあげます。

終わりに、本プロジェクトチームの活動に快くご協力をいただきました、アンケート調査の協力団体、視察訪問先やヒアリング、インタビュー先の皆さま、また、行政並びに関係機関の皆さまに心から感謝を申しあげます。